

「量子計測化学」受講生のみなさん、

講義日程と課題提出について訂正があります。

1 : 1 / 2 3 日授業あります (これが最終の講義です) 。担当は馬渡先生です。

2 : 課題は1 / 2 3 に馬渡先生から提出されます。

また、前回授業最後に議論してもらった蛍光色素の向きを計測する手法についてコメントがあったので回答します。

コメント① : 蛍光を2つの偏光フィルターで分離する方法でも、誤差があるので言うほど時間分解能は高くないのでは？

回答 : そのとおり。実際は時間平均する処理等を行うことがあります。ただ、それでも原理的に1フレームで角度を計算出来るので、時間分解能に関しては優れています。

コメント② : 蛍光計測用の偏光フィルターをまわす方法でもよいのでは？

回答 : そのとおり。その場合、角度分解能と時間分解能の関係は同じになります。

以上、皆さん一度理解すると良いコメントしますね。今後も、建設的なアイデアを出せるように意識してください。

野地

Hiroyuki NOJI

Professor, Department of Applied Chemistry, The University of Tokyo

7-3-1 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113-8656, Japan

Tel: +81-3-5841-7252, Fax: +81-3-5841-1872

E-mail: [hnoji@appchem.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:hnoji@appchem.t.u-tokyo.ac.jp)